

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外のファイナンスリース取引については、引き続き賃貸借取引に準じた会計処理を行っている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3,272,000	1,075,000	-	4,347,000
特別寄付金引当資産	315,436	-	150,000	165,436
小 計	3,587,436	1,075,000	150,000	4,512,436

3 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する対応額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,347,000	-	-	(4,347,000)
特別寄付金引当資産	165,436	(165,436)	-	-
小 計	4,512,436	(165,436)	-	(4,347,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	21,598,488	13,459,345	8,139,143
什器備品	6,690,555	6,622,340	68,215
楽器等	418,117	322,780	95,337
合 計	28,707,160	20,404,465	8,302,695

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	1,324,268	1,324,268	-	-
都民芸術フェスティバル	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	3,703,000	3,703,000	-	-
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	1,158,000	1,158,000	-	-
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	1,206,000	1,206,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	12,039,893	12,039,893	-	-
伝統音楽普及促進支援事業	文化庁	-	4,438,503	4,438,503	-	-
「夏休み子ども能狂言体験教室」補助金等	神戸市教育委員会	-	50,000	50,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業補助金	兵庫県企画県民部	-	200,000	200,000	-	-
ひょうごの芸術文化育成・支援事業	兵庫県企画県民部	-	100,000	100,000	-	-
合 計		-	24,219,664	24,219,664	-	-

6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,272,000	1,075,000	0	0	4,347,000

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	150,000
合 計	150,000